

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公表番号】特表 2019-508535 (P2019-508535A)
 【公表日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-012
 【出願番号】特願 2018-539938 (P2018-539938)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 161/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 153/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 161/06

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 153/00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(1) アルキルフェノール (例えば、ブチル - 若しくはオクチル - 若しくはノニル -) とホルムアルデヒド、又は

(2) アルキルフェノール (例えば、ブチル - 若しくはオクチル -) とアセトアルデヒド、又は

(3) アルキルフェノール (例えば、ブチル - 若しくはオクチル -) とアセチレンの反応によって作製される熱可塑性フェノール樹脂を含む、感圧性接着剤組成物。

【請求項 2】

アクリル、ゴム、天然ゴム、イソプレンプロックコポリマー、ブタジエンプロックコポリマー及びそれらの組み合わせのうちの少なくとも 1 つを更に含む、請求項 1 に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項 3】

ポリテルペン、ロジンエステル、テルペンフェノール、炭化水素樹脂及びこれらの組み合わせから実質的になるリストから選択される粘着付与剤を更に含む、請求項 1 又は 2 に記載の感圧性接着剤組成物

【請求項 4】

前記熱可塑性フェノール樹脂が、約 2 w t % ~ 約 4 5 w t % の量で存在する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項 5】

前記アルキルフェノールが、エポキシ、ロジン、テルペン、ブタジエン及びこれらの組み合わせから実質的になるリストから選択される官能基で修飾されている、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項 6】

バックングと、

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物と

を含み、

低VOC若しくはVOC無し、ディープベース配合物又はプライマーを含む配合物のうちの少なくとも1つを有する建築用コーティングを含む被着体に対して、79°F及び相対湿度74%で測定したとき、前記熱可塑性フェノール樹脂を含まない接着剤物品と比較して改善された接着力を示す、接着剤物品。